

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	し尿処理事務に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	4	2	3	
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	クリーン推進課			
施策	225環境衛生の充実	担当課室長	中川 聡			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	合併浄化槽設置補助制度について周知PRを図り、更なる設置に向けて調査・研究をする。また、し尿処理手数料の徴収率が低下傾向であるため、その向上のため、徴収の強化を行う。	③令和元年度に取り組む改革・改善内容	汲取り便槽及び浄化槽の転換数の増加を図るため、対象者に対して更なるPR活動等を行い当該制度の利用促進を図る。
②①に基づく取り組み結果	補助制度の利用促進のためお知らせ等を行ったが、補助制度の利用者は4件のみであった。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	①汲取り便槽を使用している市民等 ②下水道事業認可区域を除く市域に合併浄化槽を設置しようとする者	意図(対象をどうするのか)	①し尿による水質汚濁の防止及び生活環境の保全 ②家庭から出る生活雑排水の水質汚濁物質の軽減
②事務事業の概要	し尿収集運搬及びし尿処理手数料徴収を行う。また、水質汚濁を防止するため合併浄化槽の設置を補助する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	長期的には、公共下水道の整備により汲取り世帯及び単独浄化槽世帯の減少が見込まれる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	合併処理浄化槽の転換設置に対して、設置費の一部について補助を行った。(4件)					
②成果を表す指標	指標名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠
	i し尿収集・運搬率	100	100	100	%	業務取得
	ii し尿処理手数料徴収率	97.6	97.4	98.0	%	業務取得
	iii 補助金利用設置合併浄化槽基数	20	20	4	基	業務取得
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算	
事業費(千円)	94,122	84,775	金額(千円)	内容	95,125	
国支出金(千円)	2,958	1,064	81,169	し尿収集・運搬等	3,030	
県支出金(千円)	4,642	966	2,538	浄化槽設置補助	4,710	
市債その他(千円)	13,509	12,812			11,910	
一般財源(千円)	73,013	69,933			75,475	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	汲取り便槽及び単独浄化槽から合併浄化槽への転換の件数が伸び悩んでいる。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	合併浄化槽設置補助事業をより効果的な補助制度とするため、制度の周知等について更なる精査検証を行う。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	平成30年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H29からの繰越
		H29⇒30繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由		流用・充当			
		令和元年度への繰越額(単位:千円)			

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合に要する経費(し尿処理等)	会計	款	項	目	多額経費
		一般	4	2	3	
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	クリーン推進課			
施策	225環境衛生の充実	担当課室長	中川 聡			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	アクアセンターあじさいの修繕計画について、環境衛生組合及び構成市と調査・協議を行ったうえで作成する。	③令和元年度に取り組む改革・改善内容	アクアセンターあじさいの修繕計画について、環境衛生組合及び構成市との調整・協議を引き続き行っていく。
②①に基づく取り組み結果	焼却施設の延命化等の計画との整合性を図る必要があるため、あじさいの修繕計画の調査協議について引き続き協議を継続する必要がある。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	①公共下水道を使用していない者 ②柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合	意図(対象をどうするのか)	し尿及び浄化槽汚泥の適正処理
②事務事業の概要	構成団体(柏市沼南地区・白井市・鎌ヶ谷市)の地区内で排出されたし尿、浄化槽汚泥を適正処理するために施設維持管理等の経費を負担する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	施設の老朽化による維持管理費の増加が見込まれる。長期的に公共下水道供用開始区域の拡大により処理量の減少が見込まれる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	し尿処理費用に係る負担金を支出した。					
②成果を表す指標	指標名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠
	i 処理率	100	100	100	%	業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算	
事業費(千円)	179,884	172,212	金額(千円)	内容	211,795	
国支出金(千円)			38,009	管理費		
県支出金(千円)			134,203	し尿処理費		
市債その他(千円)						
一般財源(千円)	179,884	172,212			211,795	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設の老朽化による維持管理費の増加が見込まれる。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	脱水汚泥焼却炉等、各設備の老朽化が進んでいるため必要な修繕計画を検討していく。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	平成30年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H29からの繰越
		H29⇒30繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由		流用・充当			
		令和元年度への繰越額(単位:千円)			

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	狂犬病予防等に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	4	1	1	
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	環境課			
施策	225環境衛生の充実	担当課室長	市村 昌子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	狂犬病予防注射の接種率を上げるため、従前行ってた接種の督促回数を増加、強化を図る。「飼い主のいない猫不妊・去勢補助事業」の枠と機会を拡大し、「飼い主のいない猫」の個体数の抑制を図り、動物愛護法に規定されている「人」と「動物」の共生社会を目指す。	③令和元年度に取組む改革・改善内容	狂犬病予防注射の接種率を上げるため、従前行ってた接種の督促回数を増加、強化を図る。また、「飼い主のいない猫不妊・去勢補助事業」の枠と機会(早期受付実施:2期制の導入)を拡大し、「飼い主のいない猫」の個体数の抑制を図り、保健所巡回指導の強化を図る。
②①に基づく取組み結果	畜犬業務に係る専用システムを導入し、効率的業務運営を図った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内畜犬、飼い主のいない猫	意図(対象をどうするのか)	狂犬病の発生を予防し、また蔓延を防止及び撲滅する。また飼い主のいない猫の個体抑制し、動物愛護法に規定されている「人」と「動物」の共生社会を目指す。
②事務事業の概要	例年4月に獣医師会と協力して市内各所で狂犬病予防注射を行っており、予防注射が行えなかった場合には、動物病院で予防注射を行った後に、窓口で注射済証の交付を行う。また「飼い主のいない猫」による、人への生活環境への影響を最小限にし、「人」と「動物」との共生社会を目指す。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	狂犬病予防法により、犬の登録及び狂犬病予防注射の接種が義務付けられているほか、ペットの社会的位置づけが替わり、動物の愛護及び管理に関する法律の改正されたことにより、人と動物が共生できる社会に至るには、長期間のスパンでの持続的対策が必要となってくる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	・狂犬病集合注射(市内18か所、7日間)の実施、未接種犬の飼い主に対する督促の実施 ・飼い主のいない猫不妊・去勢助成事業規模を拡大して実施。また「飼い主のいない猫適正飼養普及員」の1名任命、普及員の拡大することができた。					
②成果を表す指標	指標名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠
	i 畜犬登録数に対する予防注射接種率	73.24	72.94	75.4	%	
	ii 飼い主のいない猫死体処理数	273	304	305	頭	
	iii 飼い主のいない猫不妊去勢実数	14	13	26	頭	
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算	
事業費(千円)	5,343	4,184	金額(千円)	内容	4,416	
	国支出金(千円)	0	1,953	非常勤職員賃金		
	県支出金(千円)	0	316	印刷製本費		
	市債その他(千円)	0	315	鑑札等作製委託		
	一般財源(千円)	5,343	4,184	8 畜犬登録促進指導委託	4,416	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	ここ数年の狂犬病予防注射の接種率の伸び悩み(73%台)を解消する必要がある。また、「飼い主のいない猫」の人への生活被害が寄せられている。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	法令により、市に義務付けられた業務であるため、未接種犬の飼い主への督促を今後も継続していく必要がある。また「飼い主のいない猫」に係る事業費が少額であり、利用者が限られてしまう現状を鑑みる必要があるため、H31年度の予算を倍増した。(予算額の倍増・H30:448千円→H31:952千円)				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	平成30年度事業費の状況(単位:千円)			
	計画事業費	予算額		決算額
②計画に対する事業実績	0	当初	0	H29からの繰越
		H29⇒30繰越		
③達成状況	0	補正	0	現年分
		流用・充当		
④未完了・非着手の理由	令和元年度への繰越額(単位:千円)			

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	第2斎場建設事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	4	1	3	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	環境課			
施策	225環境衛生の充実	担当課室長	市村 昌子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	令和元年10月の開業に向けて工事(建築・電気設備・空調設備・給排水衛生設備、外構等)を実施する。	③令和元年度に取組む改革・改善内容	新築工事(建築・電気・空調・給排水衛生・外構等)を実施する。
②①に基づく取組み結果	一部に若干の遅れはあるが、全体的には予定どおりに工事が進捗している。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	四市複合事務組合(船橋、習志野、八千代、鎌ヶ谷)	意図(対象をどうするのか)	社会慣習、公衆衛生、その他公共の福祉の観点から支障なく行われる
②事務事業の概要	四市複合事務組合(船橋市・習志野市・八千代市・鎌ヶ谷市)が建設する第2斎場整備に必要な経費の負担を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	高齢人口の増加に伴い火葬件数が増加しており、既設の馬込斎場の拡充、増設の余地がなく火葬能力の限界に近づいている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	四市複合事務組合による第2斎場建設費に係る負担金を支出した。(主な事業:本体建設工事、各設備工事等の実施)					
②成果を表す指標	指標名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠
	i 馬込斎場利用率	95	94	96	%	業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算	
事業費(千円)	40,161	159,969	金額(千円)	内容	145,000	
国支出金(千円)			159,969	四市事務組合負担		
県支出金(千円)						
市債その他(千円)						
一般財源(千円)	40,161	159,969			145,000	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	令和元年10月の供用開始に向けて、新築工事に遅滞がないような事業の進捗を管理する必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	第2斎場建設の進捗により組合員及び構成市と協議を重ね、事業の精査・検証を行っていく必要があるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	負担金の支出	平成30年度事業費の状況(単位:千円)				
		計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	負担金の支出	159,969	159,969	当初	159,969	H29からの繰越
				H29⇒30繰越		
③達成状況	完了			補正		現年分 159,969
④未完了・非着手の理由				流用・充当		
令和元年度への繰越額(単位:千円)						0